特別
14
3157
9

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文化元甲子仲冬　極波の浦人

雲廉書

甲子雲風會

松[illegible]彩[illegible]めるつゆ秋くれぬ　芭蕉

菊のかつらの新やとる月　四時堂

厚[illegible]生すんて映稲もて　奇淵

ちゝ後引のゝ[illegible]　定来

むらさき流江[illegible]ら住別し　鷺白

春のあゝ[illegible]の鶴菓ちる声　松翁

[illegible]

[illegible]の宮宮[illegible]ぬかつか　舩　方水
風[illegible]　二道
嚴おやまの維[illegible]唱ふるたのうち　出真
[illegible]る宇[illegible]の山阪　外樂
[illegible]の表[illegible]の[illegible]　蓮月
根の[illegible]に車　[illegible]　二蝶
五位[illegible]　蓬宇
あつ[illegible]社祢宜[illegible]餞をつかまつる　名河

[illegible]の[illegible]降[illegible]の[illegible]る土用[illegible]る　冰几
牧遣木　撰[illegible]　輔　の[illegible]　二松
祈[illegible]　霞堞
[illegible]の[illegible]岡崎の宝　泉車
[illegible]　[illegible]　鳳明
天氣[illegible]　[illegible]　魯井
[illegible]の芭の[illegible]　銀獅
御[illegible]佛[illegible]　[illegible]　[illegible]

右百歌一順

[illegible]年中行事のひとつとなりぬ

[illegible]こよ時雨島も　奇淵

[illegible]しよかきあつめる

代士のふるてこもるもちの長　八十七翁　大江丸

半ちこうる時こてをりすすき　八千

[illegible]の宿の限　一炊

秋の寿　[illegible]　負屋

[illegible]ぬんら[illegible]れ　桃岳

天の川　[illegible]　井眉

[illegible]の[illegible]　三津人

[illegible]の竜　二齋

更りや　[illegible]　升六

[illegible]　一峰

うきあらはれやうやう空きはりて后の月　丁郭女
明らかにやうやう多勝ることの稀なれば　能徳
鶏鳴の声ばかりきこえて朝あるべし　冰儿

賀文行

酒あるべし者ども　鶴の羽の袴のおごそかなる　鶴雄
金鼓の音　舞手まうけて厂の声　雨業
出仏あるべし　あるべきかの時なり　柏俊
人声や初あらはれの板の　宇舟

寒ふるもいつまで鶯もとるべきも　長齋
黄菊白菊あるべしとかれ　瑞鳥
后の月山をたちて遠ざかる　桃源
なほひとたびの雲のかかる暮　良子
月清し旁方ふかる岡の松　霞丞
雪降るもとぶ雪あるべしとかれ　其丈
朝ものこころ月の加はる方もあり　松菊
明星稀しいかとまたかれ秋の月　口洞

暮秋

さらぬ咲横の秋ちるもみぢ　方水

咲ぬしてそちふ業ちるもみぢ　立寅

何ちなくつも出ちる秋の名残　松羽

白雲のうけもむちり落野原　飛良

ちるしふ竿ちるもけるる　文頂

ちるつも神ノのの一羽うの　双卿

浴室の行のくもりやすます　雨柳

ひぐるる宮ちるもよ月ちる　外海

月ちて河ちる流日ちる　鳳明

朝ちる稲の穂ちる浦ちる　左手

夢声もとる湖ちる市　其竹

故ちたちすちる梨

名ちる海のうへ　湖卜

ちるもちる扶ちる　女鶴

世ちるちる尼ちる秋の蟬　市仏

秋蟬の声しみあるものかな　芭蕉

たくさんな雲の隙なく月の声　麓月

夕ぐれや松にもしくれ萩の風　二道

初茸やしめりもちかぬる本の雫　二蝶

篠生やあらし八屋の雫　二松

さくらの花のうちも遠屋して

寒しよ月見まうとなる宮　蕉洞

雪降るやまさかあるを峠うち　伏水　歌蝶

ちかくして茅ちかくちかく初あらし　京　宋也

ひるしし秋たちつかを待の上　玉屋

はちすのうていくこゝろ秋の花　馬印

弱の雑の何もきくれ鈴の音　田木

水隠の松ふこゝをまてて津鳥　蒼虬

白雲や清の門やむ来郭弟　士郎

京やけ八秋の白くもよ萩の片　二洋

[illegible]ある枝の[illegible]むきや望の月　其成

[illegible]よ鹿の聲　大和　[illegible]

[illegible]の[illegible]　龜遊

[illegible]の柳[illegible]や秋の雨　三輪　其杉

[illegible]の[illegible]　芝村　牛の又

松[illegible]の[illegible]の笠　河内　冰水

秋[illegible]八鏡の[illegible]　蓬宇

[illegible]　其鳳

四時

鶯[illegible]朝[illegible]の聲　高岡

[illegible]　冰水

家二軒　茸[illegible]　其鳳

[illegible]　蓬宇

山茶花の咲けば[illegible]　水

[illegible]ひ拾へ[illegible]鶏の[illegible]　淵

[illegible]石。つ並ひ　宇鳳

[illegible]の[illegible]　湖

[illegible]の[illegible]　水

[illegible]の車[illegible]　鳳

[illegible]の舟[illegible]へ[illegible]る　宇

[illegible]　宇

多[illegible]れ[illegible]の[illegible]　水

竹の枝のゆたやひやつく　渦

[illegible]舟　宇

犬の[illegible]る　鳳

[illegible]の[illegible]　岡

[illegible]の[illegible]　水

[illegible]の[illegible]　有堂

松の[illegible]　竹里

未[illegible]　梅居

雪ふるやうてつるぬる樽りさ　堺　皆笛

花ちるてい方や　松風の秋のうし　江戸　二鶯

ちゝ泉ゆゝるる浦のきあるし　江戸浦　春堂

公代のつ扶を寄のやとる　春人

秋にくちうぬ朝ふるのゆる　、

菊咲や　岑ふるかさ　中野　呂耕

そのの戸ふちへいてしも天の川　兵庫　相洒

雪日もあていちる妻のおるちう　成ま

別て市人、斎こ様こ秋ハちうる　和田堀

富士の松ちを寄ちんうもてや岩る　呂服

寄ふ柳ふとこ　遅春

秋の船中あいきぐもハあ阿ぐう　伊賀　閑竹

切ふ〳〵寄ふ船も離ふて様ふ笠　一青

雞頭の花もん秋の日数ふる　、

郊外遊宴

ちふしあ隠ふ寄ふ　秋のそう　蕉星

遠きあくしよくの宿のひぐらし　若翁

葉ゝ咲よりしと啼　おぐら山　尾張　景山

大百のあくるの日　秋やしの花　甲斐　漫し

くるゝ日をうけて出る水ふ　江戸　木海

小夜嵐　こゝの葉てゝおる泉のさゝ　越井　鳥頂

野ゝゝつゝ夕暮うけて行　男浪　大津　駒道

きりしす鳴ちよりゝゝあくしい　播戸　狐蛙

稲ゝゝきゝ乃や稲ゝ蝶　安芸　可友

湖や木のゝ百ゝ百のこほゝ身　阿波　越来

ゝゝ月ゝあくしの河ゝ秋ゝの宿　白川

三時のあとゝよつゝきゝ小田の月　弓雄

秋の雲ゝ志のびゝゝゝゝあこゝ　枝角

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　石羅更　板友

秋風や伏嵐の続ゝゝ　ゝゝ二

戸のゝゝゝも芝ゝゝゝゝ伏家ゝ　伊豫　五粒

ゝ一夕ゝ暗ゝの小川のゝあゝゝ　惺臺

たづねて　八重八重の庵　菊遊
知らしと　蟬の音　秋ぞ　壽平
つゆ入て　あるよ　峠　雲　堅峰
秋の風　ひやし　松　ときとくの　龍川
庵ぬて　集　まぬ　秋の　松　月　冠月
蓋須　我世　うつ　孫　棟窓
初時　碎　しむ　船　雲土
稲　の　ぬ　月　扶　貝調

遠垂　声　河　風の　蕪雪　其龍
雲　の　月　雲　月　風　枫暁
花市　傘　けし　市の菊　讃岐　東星
たく　山　櫂　ひと　生駒林　朱船
峰　雲　つ　葉　富田林　南六
月　秋　秋の　八千星
秋の　棹　下　有岡　紫金

風よりとあらわれくうらゝ衆しれ　呂服　稲丸
初汐のさすや船ゆめ戸口まで　遅春
夕暮紙一すぢや塩のくち　阿波　墨友
ひるの月ようまも價のちゝりける　和泉　新甫
湖東の人ゆれくる
紅葉鮒ハ嵯峨ノ旅ニ呂ノ膳　仝
唐うらし埴へたいらぬ脇ノ本　三河　木架
袖を立てて竹ゆ土色のと雪時雨　朱筵

豊年や風も大きくなりあるる　蹄堂
手ぶくろもとゝ雪ぶくるる秋の　伊勢　東河
建仁寺の塔のすゝちるきぬくれ　淇舟
笛かゝくる人業交つゝの船ゆ舟　雄姿
月ゆる人一面鄙もありて寄のそ　皇童
業の夫の何ぶうらぶる鶴の声　交漁
訳ぶ鶴ゆ相ぶくりゆ夢のむ　左涯
神移ぶ時ゆ人ゆ森のうへ　椿堂

松のもとなる桜の二枝遠きぬと　丹后　子英
灯は消えぬる夜の新蛍　益水
二枝のみ三枝の花の梅木なる　但馬　奥暦
白菊や秋の日の影かたぶく　モリダイ　ひろを
夏草とつもる紅葉のなてしこ　豊岡　村蓮
海鼠なる身あるこけや蟹の衆　丹波　ばせを
出るつるや別れのうかがりる秋　大和　春糸
月秋や梅もはらはらまさりをる　浪速　甘干

名月や山もとうくるる蓮雲　梅後
大きなものうきぬ手ぬぐひや秋の乳　蜂友
酒をひて船に乗さす月見哉　桃雲
うつくしき蓮の実の中の海老　簞竹
宮ゐれて蓮の実の中の海老
あら磯の蓮の実の木槿　朝三
月見せ蓮きく蓮の立ち　器夜
樽酒にてもらふ牡丹の根分かな　世男

ちるやうにかしまし手鞠しぶ女　花信

若木樓月まちがほなる梅の香　左蘭

あるじして酒をすすめのく菜山ゑい　月居

蓋に花かけまもらぬ庭の春　霞堞

月の降る中　春風のかく　桐梧

厂年の秋をうれひて暮ゆく　青淵

後ろうしに鞠を抱おす　井眉

市中を洗ふ春の雨　銀物

たつつ雲の人の行ふ洲しに　素頑

北嵩を待濤たちのぬ　むお砂

まろうと試みてうしに鞠を宗ちる

石上の梅ひらく紙井眉　茅ちぬ

の間をつきて風一ぢとす

三春うけて小鞠の砂を仕ふ　青淵

智恵のくらはかすす　御士　霞堞

殆為ゟ牡丹のちらて　かなゝ乃きて　井眉

節の松たもを　曜のちらつく　湖

福寿草　ちられハゆゝ水のきる　稲丸

めてたき人ゝ華を手ゝすす　銀獅

世の中の義をきて秋のそら　堞

菊　のちらし風のあくし　丸

無ちきに秋ちられぬよ秋の空　吾雀

牛蒡も交て作らる草　雑　堞

ちらゝ咲弥生ちるも恋ん　開

泪も雪ま　おうぬいてちる　丸

名月のちらた部子なきす　河内　江麦

秋の仏坂の水ま　京　丈左

社の白乃むらし　在あうねさす　江戸　眉由

まん丸な月をたすうの梨をとし酒　伊セ　秋助

初しぐれ雪をぬれた回一たい　丘高

雲つ紅葉も下地をまきてうし　讃文　呂仙

白川や秋のいろうを菊の色　伏水　貫山

蕎麦とらのうしろまくらや西の雲　梅渓

鬱鈍や掛徒の花をれ一本　浪速　出真

さてしよんつくしやそのの雪　魯井

甲子

枯野會

とし〳〵枯野竟のうへ　左郎　斎開

右百韻　淵尾

冬捻香

梅窓院中仏窮忘ようちうて花生

探梅とうて保吟をおのいて

梅ぬくまし椿を手折て　僕　天牧

[illegible]　大江丸

[illegible]の花咲ける柱かな　銀物

[illegible]まつ[illegible]塚の[illegible]　雨業

依古仲絶唱用叡其古墳

不向青青垂[illegible]墅[illegible]て[illegible]蜂友

[illegible]柳化

詠つ[illegible]て[illegible]塚　舩雲

柱[illegible]雲岸の[illegible]雨[illegible]て　鶴堆

芭蕉[illegible]　冰几

[illegible]　左蘭

[illegible]　外海女

[illegible]柱[illegible]　柏後

[illegible]山

[illegible]　孜竹塚よ　[illegible]来

[illegible]塚の[illegible]衣　葱竹

[illegible]の[illegible]　百堂

[illegible]一葉二葉と咲るより　驚白

撫懐日之唯

不二碑前[illegible]

名古屋のもきねくけるのつ根おし　丁江

湖や[illegible]　湖卜

くさ[illegible]の[illegible]　若雀

人[illegible]ぬかりや[illegible]　後花　帰旨

[illegible]　枯ゆ[illegible]　其鳳

[illegible]小春のあ[illegible]　霞堞

世[illegible]人のよ[illegible]　泉車

いき[illegible]朝[illegible]　呉天

文音

菜の[illegible]塚の[illegible]

[illegible]　枯ゆ[illegible]　生弱竹　来船

[illegible]祖[illegible]

[illegible]　伊豫　枫暁

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初しぐれ焼のうつる炭のうへ　伊賀　其夕

月は出あらぬ夜もなみよ　高岡

ふつつかに新爵の袖うつくしき　大江丸

蓑のちさと人のみのたーゝ　[illegible]

眠蚊とともつきて、枯れたる陸奥ちぬ

枯れゝゝ中ゝゝのうちもあるかなきかの

遠方高や角のやもくる牛もたち　鄭蓼鶴

高つゝもたゝるうーゝ雪の竹　東隈

ふたりーゝや新葉の中ーの松へ巻　梅里

一枝ゆくゝ咲るの中ーの鳥うたよ　巴丈

やたちのと耳のもつゝ蛙のゝえまき　瑞馬

咲るまの清ちうーき秋よのゝろ　丁江

[illegible]　立寅
[illegible]　松羽
[illegible]　春思
[illegible]　自積
[illegible]　霞堞
[illegible]　外海女
[illegible]　雨美
[illegible]　二道

拾題檀林体　二章

[illegible]　輔
[illegible]　水桜
[illegible]　野飄
[illegible]　女鶴岌
[illegible]　中凡
[illegible]　二蝶
[illegible]　二松

あさぢふの　こもりしら網代も　君平
都てまつ　夜来
夏草　奥眼
あらつまの　鷺白
加いろ　高岡
遠ちとも　京　市月
網代木の　盛雪

雲の　素頑
竹の　歌蝶
柳　生花　花養
あをれ　其鳳
よい　蓬宇
初　阿波　八朔
白雪や　冬二
柱柳　墨支

ちぬの園にて

うつめまさる苗代の水　墨友　桃友

ちるは咲とのおもてとうす　高潤

おくしの堂にちるは武火補　伊豫　香坊

駅を宮て咲とをしたるを　五路

二ちうら富士ちかしたる　其調

一時も枯ゆく雲のうすき　琴風

[illegible]乃流れにくく巣山の[illegible]　惜堂

巣の花に菖蒲道をたのもしく　蘭挺

吹かと詠まるのこなる法華　林寛

宮居あるるもたくしかの卵　晃月

雲ちるは中空いつて社燈の雫　雪峰

水鶏中[illegible]あ[illegible]の花あるる　龍川

[illegible]ふのこまを蝶を牡丹の社[illegible]　其龍

夕山やうつかまかるるのこまち　宇和島　華山

[illegible] 大和 風光

[illegible] 伊丹 雲武

[illegible] 敦賀 李雲

[illegible] 但馬 菊庵

[illegible] 播磨 其圭

[illegible] 紀州 士川

[illegible] 但馬 鷺橋

[illegible] 近江 良逸

[illegible] 杜人

[illegible] 廿男

[illegible] 器友

[illegible] 花后

[illegible] 雲筆

[illegible] 柯

小野しゐの影やあらぬ蓬生の宿の月　麓月

あらぬきを汁に見ぬ世の岸の雲　左蘭

るしるの赤の風をしの餅しるる　雲舟

加茂の社の聚しるる五十年　廣岳

柴の戸や小鍋のうへの初しぐれ　信隆　行十

しらぬ世をけふの古りぬる雪　河頼

うらぶれぬ雪のしるの雪のみ　七序　五趙

夕の和うの松のよるの雪　高河